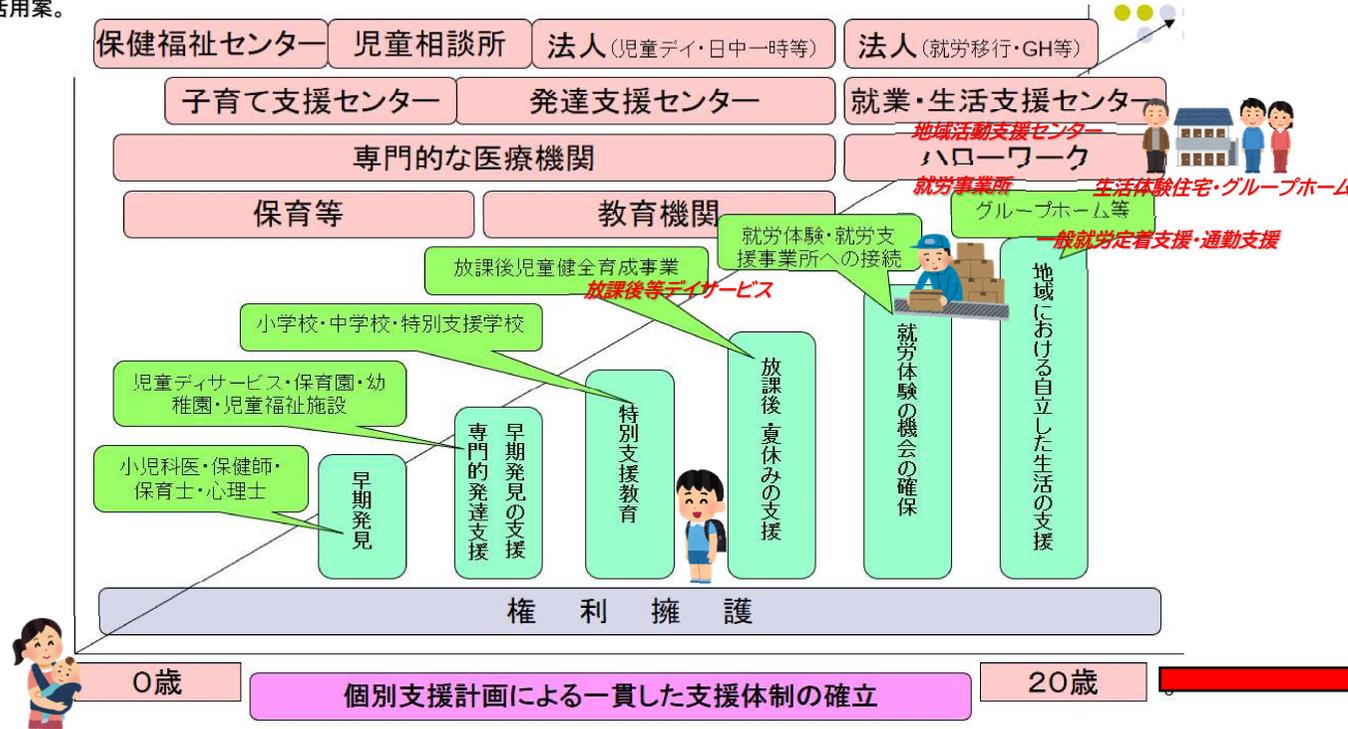


## 障がい者一人ひとりに合わせたライフステージ別の対応について

※ **赤字**が今回の土地の活用案。



### ライフステージに関わらず必要なサービス

#### 相談窓口

障がい者当事者・家族等の相談窓口  
障がい者雇用に取り組む企業の相談窓口



#### 交流サロン

障がい児を持つ保護者の交流の場、障がい者と地域住民が気軽に集まって交流できる場



- 「発達支援システム」により、発達支援を要する方へ、**乳幼児から就労期まで一貫性と継続性のある支援**をつないできました。

このような支援体制を構築する中で、新たな課題やニーズに直面し、対応方法を検討してきました。

- 今回の土地を**障がい福祉活躍ゾーン**とすることで、ライフステージに合わせて発生するニーズに応じて、子供から大人まで全ての障がい者が必要な支援をよりスムーズに受けられる体制作りを目指します。

- 今回の土地に**様々な機能を集約**することで、相乗効果が生まれ、単独で実施する場合には得られない**新たな効果も生まれる**ものと考えています。

(障がい児が動く障がい者(先輩)を見て将来を想像しながら成長できる、障がいの有無に関わらず地域の子どもたちが遊ぶ場ができる、地域住民の憩いの場にもなる、障がい者と地域住民が触れ合える場が市街地にできることで合理的配慮や社会的障壁をなくすことへの理解が進む など)

⇒障がい者が当たり前で働いて生きていける町や、誰もが**人格や個性を尊重し合い、人々の多様なあり方を認め合う「共生社会」の実現に近づくものと考えます。**